



天然記念物 雄橋

中国山地中央にある広島県庄原市・神石高原町にまたがる約20kmに及ぶ帝釈川流域と、その中央に位置する神龍湖は、帝釈峡という日本5大名峡の一つであり、比婆道後帝釈国定公園の一角を担う中国地方屈指の景勝地です。

この地域は広大な石灰石台地で、鍾乳洞や洞門も多く見られます。

帝釈峡は、帝釈川の浸食によってつくられた渓谷であり、ここに世界三大天然橋 の一つに数えられる雄橋があります。

長さ90m、幅19m、高さ40m、河床から洞の天井まで18mあり自然が創りだしたこの橋は、「神の橋」ともいわれています。

この橋は、橋の上を流れていた帝釈川が橋の下にできた鍾乳洞の中を流れるようになり、この鍾乳洞を徐々に浸食したため天井部分が崩落して、現在の部分が形づくられたといわれており、国の天然記念物にも指定されています。



土木紀行

天然記念物 雄橋と 神龍橋(旧紅葉橋)

おんばし しんりゅうばし きゅうもみじばし
ひろしまけんしゅうばら しとうじょうまち じんせきぐんじんせきこうげんちょう
広島県庄原市東城町, 神石郡神石高原町

水の浸食作用によるものですが、地元には山神が多く、多くの鬼を使って一夜でつくったという伝説もあります。

神龍橋(旧紅葉橋)

雄橋から下流に帝釈川ダムによって生まれた神龍湖があり、旧紅葉橋はこの神龍湖を横切る県道三原東城線に、昭和5年(1930年)に架設されました。

戦前に架設された道路用のトラス橋としては最長スパンを誇ります。

広島県で昭和60年に神龍湖を一周散策できる周遊歩道の整備を計画し、湖を跨ぐ神龍橋として県道に架かる解体予定の元紅葉橋を保存活用する計画が立てられ、同年12月に全国的にも珍しい工法(ユニフロートによる湖面上の移設)で架橋し、既存の探勝歩道と結ばれ四季を通じて訪れる人の多いこの地で神龍橋として今も歩道橋として活用されています。

橋長84.0m、幅員2.0m(旧紅葉橋 幅員3.6m)



世界三大天然橋 北アメリカのロックブリッジ、スイスのプレビシュと並び世界の三大奇橋の一つに数えられています。

社団法人土木学会より平成14年度に選奨土木遺産に認定されています。

神龍湖周辺には、雄橋の他にも急流の断魚溪や滝、白雲洞に代表される鍾乳洞や洞窟などの自然が創りだした奇勝、奇岩など見どころが盛り沢山です。

帝釈峡の見どころ

中国山地のまっただなか、広島県庄原市・神石郡神石高原町にまたがる約20kmに及び帝釈川流域とその中央神龍湖からなる帝釈峡は、春の桜、ツツジ、フジ、夏の青葉、秋の紅葉、冬の雪景色と四季を通じて美しい自然景観に恵まれ、自然科学の上からも注目されています。

湖上の遊覧船からは、四季折々の神龍湖の自然を眺めることができ、なかでも紅葉時期は特に美しいです。



<p>【交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山陽自動車道福山東 IC より国道182号線で約25km 約1時間10分 中国縦貫自動車道東城 IC より国道182号線で約5 km 約10分 <p>【ハイキングコース】</p> <p>上帝釈、永明寺から神龍湖乗船場までの約6 km は、ハイキングコースとして人気を集めています。</p> <p>広大な帝釈峡も、レンタル自転車を使えばより短時間で移動できるので便利です。</p> <p>また、駐車場からは、雄橋までをつなぐメルヘンチックな馬</p>	<p>車も運行しています。</p> <p>(帝釈郷まほろばの里「時悠館」)</p> <p>「寄倉岩陰遺跡」などから出土した石器時代から縄文時代にかけての遺物や、周辺に生息していた動物標本、縄文時代の人骨の展示もあります。</p> <p>また、昔使われていた農耕具の陳列や古代の生活を紹介しています。</p> <p>利用の問合せ先 電話 0847 76 0161</p> <p>(休暇村 帝釈峡)</p> <p>石灰岩が露頭するなだらかな台地に、帝釈峡の利用拠点として、宿舎、ケビン、キャンプ場、オートキャンプ場、体育館、運動広場など長期滞在型の</p>	<p>野外レクリエーションの場として整備されています。</p> <p>利用の問合せ先 電話 0847 72 3110</p> <p>【特産品】</p> <p>神石牛、こんにゃく、りんご、新鮮な高原野菜等</p> <p>【問合せ先】</p> <p>神石郡神石高原町役場(企画課) 電話 0847 89 3332</p> <p>神石高原町観光協会 電話 0847 89 5005</p> <p>庄原市役所(商工観光課) 電話 0824 73 1179</p> <p>帝釈峡観光協会 電話 0847 72 0525</p>
---	--	--